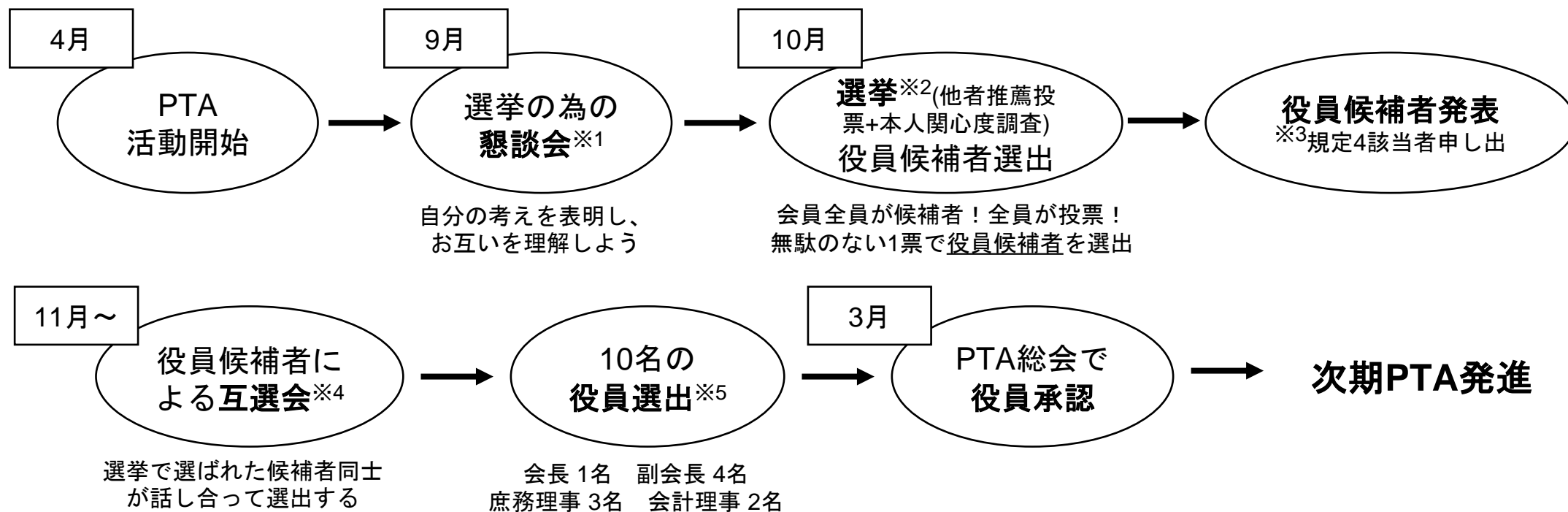


PTA役員選出の流れ



※1 懇談会：選挙管理委員会主催のもと、選挙前に行われる会長の「役員や、PTA活動に対する考えと次年度の役員選出における討論および役員候補の意思確認」の場。PTA会員同士のお互いを理解するための大切な会なので、必ず出席しましょう。

※2 選挙：役員候補者を選出するもの。会員全員が投票の対象者で、全員が投票。ただし、6年及び原則として1学期終業式以降の転入の会員を除く。今年度は、並行して実施する関心度調査の結果も考慮して候補者を選出

※3 規定4：過去1年以上役員をした人は、本人の申し出があれば役員候補者から外すことができる。

※4 互選会：役員候補者が集まり、話し合いによって次期役員を選出。なお、互選会への参加や途中でのプロセス参加辞退については、候補者の自由意思でご判断いただけます。また互選会において、辞退の理由などをお話しされる必要もありません。

選挙方法について

他者推薦投票（従来と同じ）

- 無記名投票
- 投票用紙から役員にふさわしいと思う会員5名に投票

関心度調査（他者推薦投票と同時実施）

- 記名式（WEB：Googleフォームによる回答）
- PTA役員選出プロセス（互選会など）への参加に対する関心度※を回答。

候補者選出プロセス

- ① 他者推薦投票の得票順にリスト化
- ② ①のリストの上位から関心度調査で関心の高い候補者を抽出
- ③ ②を各学年ごとに実施し、5名/学年の候補者を選出した時点で完了
- ④ ②で5名に満たない場合は、関心の低い上位得票者も加えて、5名/学年となるまで、②を繰り返す

※ 関心度選択肢（今後変更される可能性があります）

- PTA役員の仕事に興味があり、プロセスに参加したい
- 興味はないが、候補者に選出されれば、プロセスに参加して判断したい
- 興味はあるが、仕事や家庭の事情があり、候補者に選出されても今年度は参加できない
- 興味はなく、候補者に選出されても、プロセスには参加しない

選出プロセス具体例

①得票順に並べます

順位	得票数	氏名	関心度	選出順
1	8	Aさん	低い	3
2	7	Bさん	高い	1
3	4	Cさん	なし	5
4	3	Dさん	高い	2
5	2	Eさん	低い	4

④関心の高い得票者が5名に満たない場合は、関心の低い上位得票者も選出されます

②、③関心の高い上位得票者から選出し、各学年5名選出した時点で完了します。

④関心の全くない上位得票者も選出される可能性があります。